

2021年4月2日 全6頁

# 新型コロナ拡大の影響を探る 消費データブック（2021/4/2号）

個社データ・業界統計・POS データで足元の消費動向を先取り

経済調査部 エコノミスト 山口 茜  
研究員 和田 恵

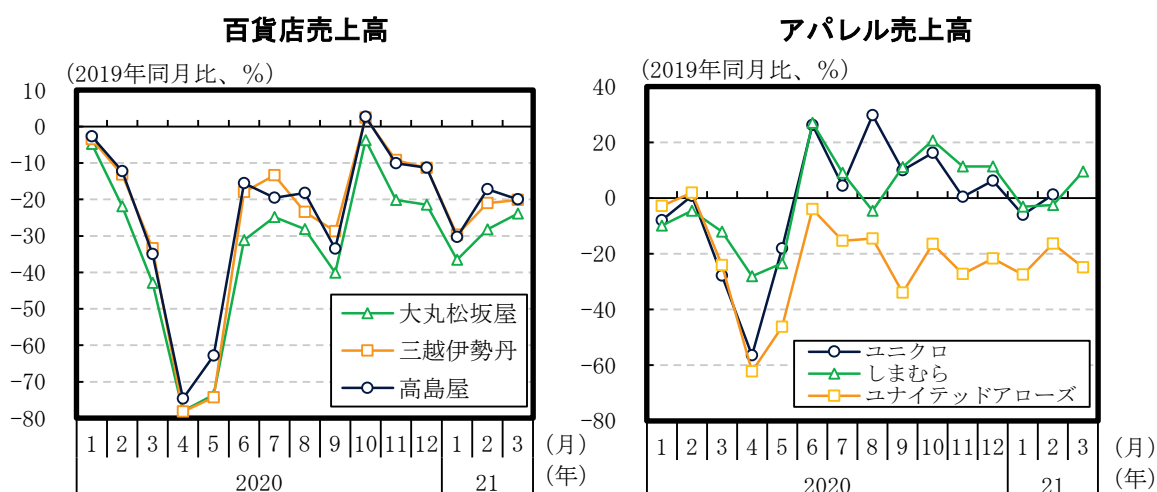
## [要約]

- 3月の消費は、緊急事態宣言の段階的解除などにより2月から小幅に増加したとみられる。財消費は横ばいだった一方、緊急事態宣言の解除や人出の回復もあってサービス消費が緩やかに増加した。足元では新型コロナウイルスの感染拡大が再び深刻化し、4月5日から大阪、兵庫、宮城にまん延防止等重点措置が適用されることになった。4月はサービスを中心に再び消費が落ち込む可能性に注意が必要だ。
- 【小売関連】3月の大手家電量販店の売上高は前月比▲4%程度、スーパーは同▲1%程度、ホームセンターは同▲3%程度といずれも減少した。他方、自動車販売は同+2%増加し、3月の大手百貨店の売上高伸び率は新型コロナウイルス感染拡大前の2019年同月比で2割減程度と、2月からマイナス幅が小幅に縮小した。
- 【サービス関連】3月の新幹線輸送量は、2019年同期比5~6割減程度と2月からマイナス幅が縮小した。旅客機輸送量も、減便率等を踏まえると2月からマイナス幅が縮小したとみられる。小売店・娯楽施設の人出が緩やかに増加し、緊急事態宣言解除地域の飲食店の営業時間が1時間延長される中で、3月の外食・旅行・娯楽関連消費は2月から増加したと見込まれる。

## <小売関連>

- ◆【百貨店】大手3社の3月の既存店売上高伸び率は、前年の新型コロナウイルス感染拡大の影響を除くため2019年同月比で見ると、2割減程度と2月（同2~3割減程度）からマイナス幅が小幅に縮小。緊急事態宣言の段階的解除等が寄与した。
- ◆【アパレル】3月のしまむらの既存店売上高伸び率（2019年同月比）は2月から上昇。平年より気温が高かったことから春物販売が好調。他方、ユニテッドアローズはマイナス幅が拡大。

図表1：百貨店・アパレルの売上高



(注1) 百貨店：既存店ベース。2021年1月以降の大丸松坂屋と三越伊勢丹は大和総研による試算値。  
 (注2) アパレル：既存店ベース。大和総研による試算値。  
 ユニクロとユニテッドアローズはネット通販を含む数値。  
 しまむらの各月の数値は前月21日から当月20日の集計値、10月以降はオンラインストア含む。  
 (出所) 各社資料より大和総研作成

- ◆【スーパー】3月の売上高は前月比▲1%程度。（大和総研による季節調整値）。  
主力の食品は横ばい。
- ◆【ホームセンター】3月の売上高は前月比▲3%程度（大和総研による季節調整値）。  
ヘルスケア、化粧品などの幅広い品目で売上が減少。

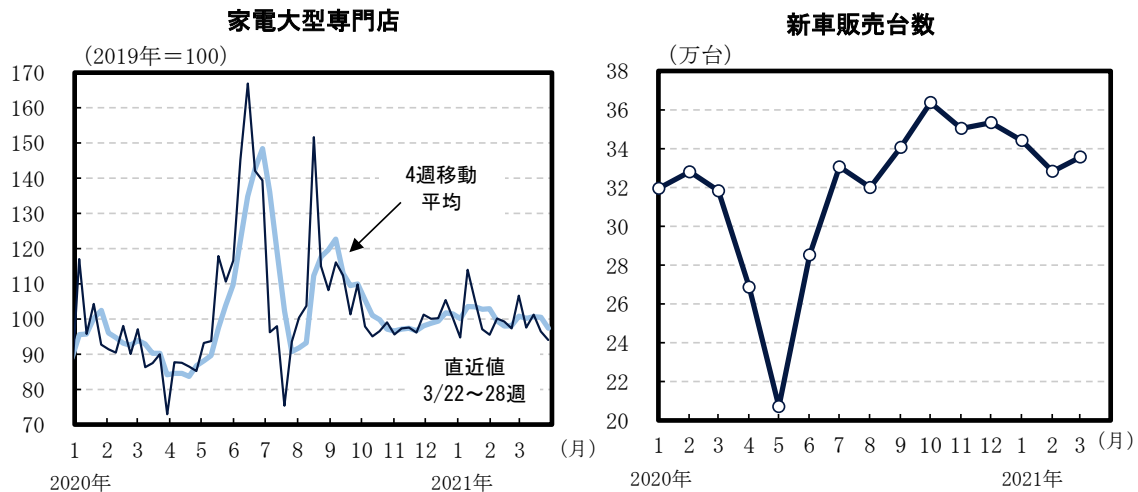
図表2：スーパーマーケット・ホームセンターの売上高



(注) METI POS小売販売額指標の週次データ。消費税を除くベース。大和総研による季節調整値。  
 (出所) 経済産業省より大和総研作成

- ◆【家電】3月の大手家電量販店の売上高は前月比▲4%程度（大和総研による季節調整値）。冷蔵庫やテレビの販売が振るわなかった。
- ◆【自動車】3月の新車販売台数は2月から7千台増加し、前月比+2%程度（大和総研による季節調整値）。

図表3：家電・自動車の売上高



(注1) 家電大型専門店：METI POS小売販売額指標の週次データ。消費税を除くベース。大和総研による季節調整値。

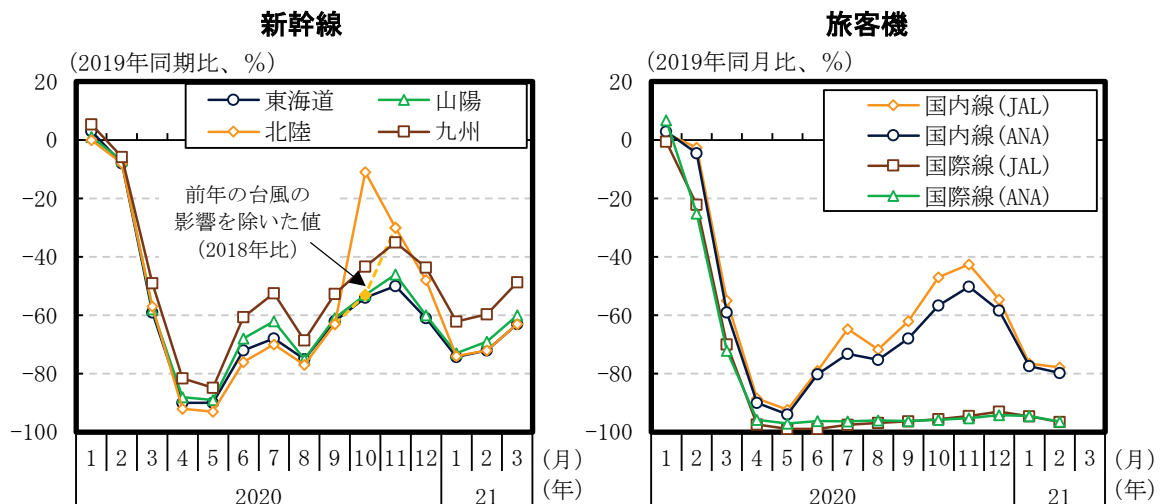
(注2) 新車販売台数：月次データ。大和総研による季節調整値。

(出所) 経済産業省、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会統計より大和総研作成

### <サービス関連>

- ◆【新幹線】3月の輸送量は、2019年同期比5~6割減程度と2月からマイナス幅が縮小。
- ◆【旅客機】2月の輸送量は、国内線は2019年同月比8割減程度と1月からマイナス幅は概ね横ばい。国際線は同95%減程度と変化なし。3月の減便率は国内線が2月より低下、国際線は横ばいであった。また、緊急事態宣言の解除後に予約数が増加したことから、3月の国内線輸送量はマイナス幅が縮小すると見込む。

図表4：新幹線・旅客機の利用状況



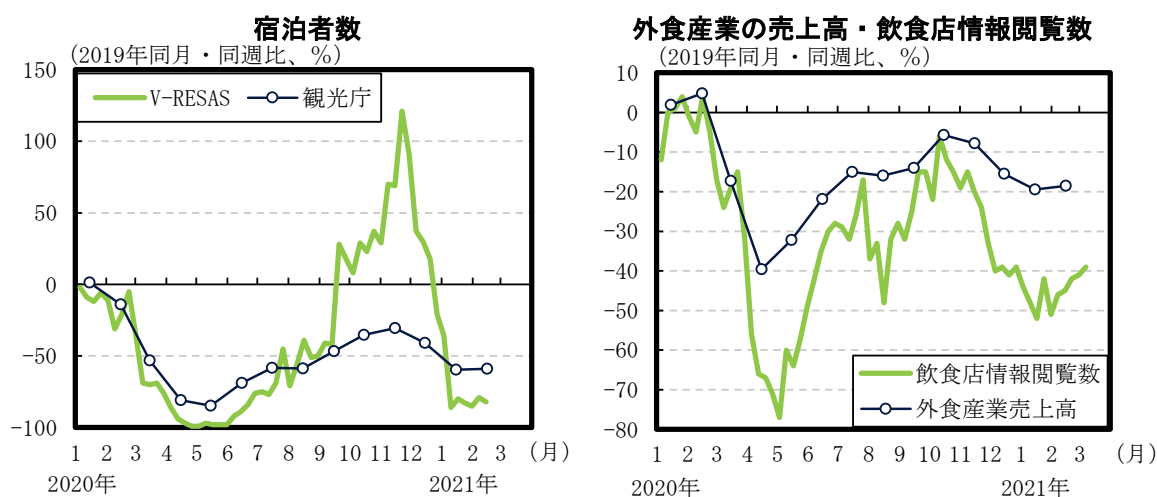
(注1) 新幹線の2021年3月の山陽と北陸は14日まで、九州は22日まで、東海道は24日まで。

(注2) JAL・ANAのデータはグループ会社を含む数値。

(出所) JR東海、JR西日本、JR九州、JAL、ANA資料より大和総研作成

- ◆【宿泊】2月の宿泊者数（宿泊日数ベース）は2019年同月比6割減程度と1月から横ばい。3月は緊急事態宣言の段階的解除を受けてマイナス幅の小幅な縮小を見込む。
- ◆【外食】2月売上高伸び率は2019年同月比2割減程度と1月から横ばい。宣言延長による営業時間の制限が重石に。V-RESAS等のデータに基づくと、3月は宣言の段階的解除や営業時間の延長によりマイナス幅の小幅な縮小を見込む。

図表5：国内宿泊者数／外食産業の売上高・飲食店情報閲覧数



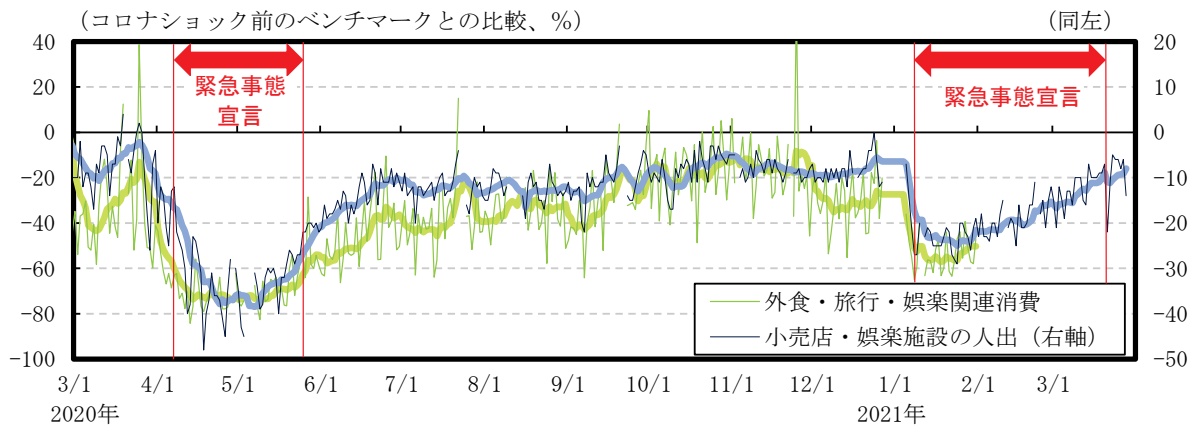
(注) V-RESASのデータは週次、それ以外は月次。

宿泊者数は、観光庁統計は宿泊日数ベース、V-RESASは宿泊開始日ベース。

(出所) 観光庁、一般社団法人日本フードサービス協会統計、V-RESASより大和総研作成

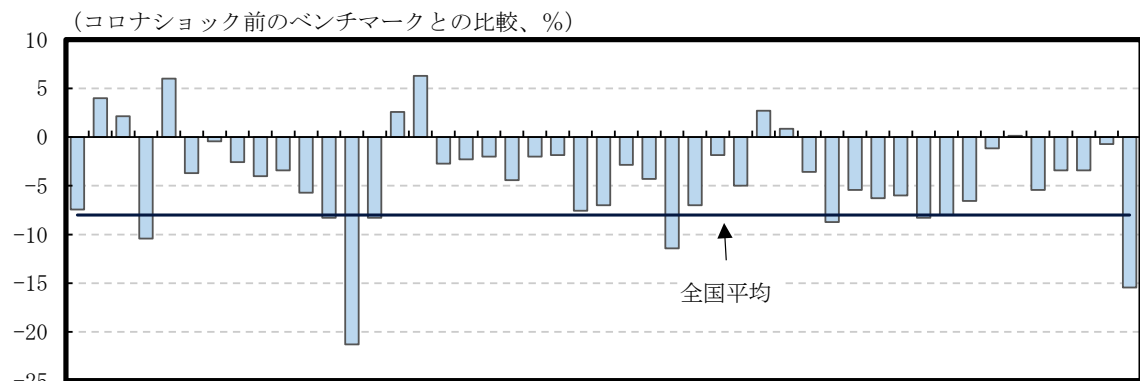
<参考：人出・高速道路交通量>

図表 6-1：小売店・娯楽施設の人出と外食・旅行・娯楽関連消費



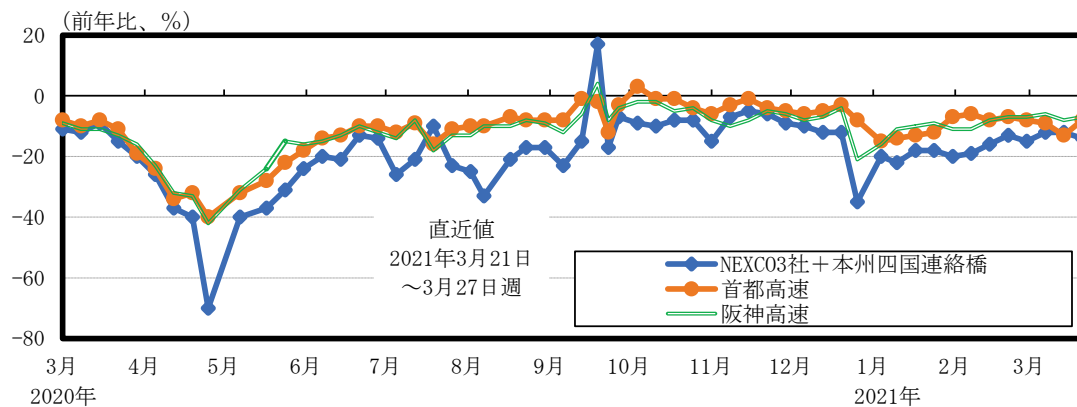
(注) ベンチマークは2020年1月3日から2月6日の曜日別中央値。太線は7日移動平均。外食・旅行・娯楽関連消費は「外食」「交通」「教養娯楽サービス」の合計値。  
 月～金曜日の祝日とお盆(2020/8/10～14)、年末年始(2020/12/28～2021/1/4)のデータは除いている。  
 (出所) 総務省統計、Google“COVID-19 Community Mobility Reports”、CEICより大和総研作成

図表 6-2：小売店・娯楽施設の人出(3/22～28平均、都道府県別)



北青岩宮秋山福茨栃群埼千東神新富石福山長岐静愛三滋京大兵奈和島岡広山徳香愛高福佐長熊大宮鹿沖海森手城田形島城木馬玉葉京奈潟山川井梨野阜岡知重賀都阪庫良歌取根山島口島川媛知岡賀崎本分崎児繩道  
 (注) ベンチマークは2020年1月3日から2月6日の曜日別中央値。  
 (出所) Google“COVID-19 Community Mobility Reports”、CEICより大和総研作成

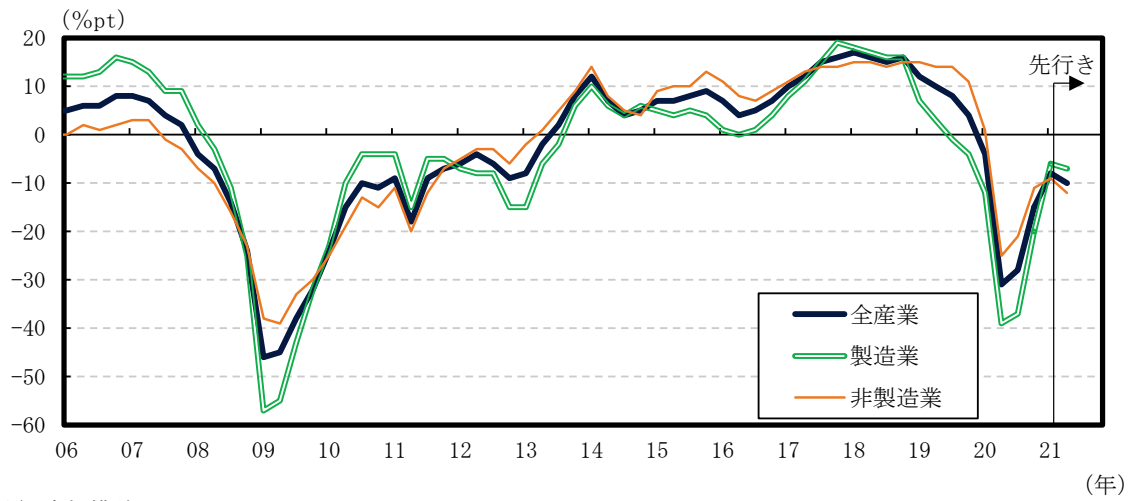
図表 7：高速道路交通量



(注) 週次データ。高速道路交通量のゴールデンウィークとお盆期間、シルバーウィーク、年末年始の前後の週は集計日数が異なる。  
 (出所) 国土交通省より大和総研作成

<参考：日銀短観>

図表 8-1：日銀短観 業況判断 DI



図表 8-2：日銀短観 業況判断 DI

